

## Reader's VIEW

## 2017 Vol.2 特集「小学校英語の教科化に備える」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト (<http://berd.benesse.jp/>) でご覧いただけます。

◎小学校英語の教科化に際し、各担任の指導力向上を図るには、英語を子どもとともに楽しむことが大切になります。英語が苦手だからと逃げるのではなく、1つでも多くクラスルーム・イングリッシュを使うことを目指し、子どもとともに学ぶという姿勢が大事だと考えます。本校でも、指導が上手な先生は、外国語指導員に任せきりにせず、自身の活動の場を増やそうとしています。(富山県)

◎特集では、特に授業スタイルの確立の重要性を感じました。その点で、座談会で紹介されていた単元目標から逆算して授業を設計する「バックワードデザイン」は分かりやすく、「振り返りカード」もこれからアクティブ・ラーニングを進めていく上で役に立つと思いました。(千葉県)

◎2018年度からの小学校英語教育の先行実施に向けて、文部科学省の直山木綿子教科調査官のインタビュー記事は大変参考になりました。特に、移行措置や文字指導の捉え方について明確にいただいたことで、学校現場への伝達や取り組みの推進がしやすくなると思います。(愛媛県)

◎小学校英語の教科化に向けて、教員、学校、地域間で差が出ないよう、事例1で群馬県教育委員会が共通カリキュラムを作成し、どの教員も見通しを持って同じ目線で授業ができるようにしていることに共感しました。また、指導主事が学校を訪問し、現場の教員とともに授業づくりに取り組んだことも大きかったと思います。(東京都)

◎小学校英語の教科化に際して、教員の不安を少しでも取り除くことが課題となっていますが、特集を読み、教員自身が失敗を恐れず取り組む姿勢が必要なのだと強く感じました。その点で、事例2の東京都町田市立本町田東小学校の記事の中で『「英語を」教えるのだと肩肘張らずに、『英語で』コミュニケーション力を高めるきっかけをつくる』という言葉が印象に残りました。(東京都)

◎巻頭記事「近未来展望」で、埼玉県熊谷市の「ラウンドシステム」に関心を持ちました。私は英語科の担当ではありませんが、そのエッセンスは自分の教科にも取り入れられると考えます。また、巻末記事「私の仕事、私の願い」の群馬県草津町教育委員会の5歳児運動健診の話が印象的で、誌面から子ども一人ひとりの発達特性を把握しようとする様子がよく伝わってきました。(石川県)

◎連載「学力向上へのステップ」で、岡山県和気町が地域人材や民間企業と手を携えた動きをつくり、子どもたちに学びの保障をしているところに魅力を感じました。地域人材の活用は様々な自治体で行われていますが、そこにアセスメントの分析を通して手立てを考えるという民間企業の知見を生かしている点が新しいと思います。(岐阜県)

◎私立学校には、特色のある教育や研究実践を進めているところが数多くあります。「VIEW'S REPORT」で紹介された愛知県豊明市の事例のように、公・私立の枠を超えて授業研修会を実施し、私立の先生方と授業づくりの話し合いなどができれば、とても有効だと思いました。(福島県)

◎英語科における「深い学びとは何か」を模索し続けていたので、「アクティブ・ラーニング実践講座」に興味深く読みました。「生徒の意欲を増すこと」「生徒による気づき」、また「相手との自然な対話」「生徒の学ぶ姿勢に変化が見られること」などが、私の疑問を解決する糸口として示唆を与えてくれました。(香川県)

◎連載「データで教育を読む」が興味深かったです。「勉強嫌いになる要因」は、様々なことがすぐに思い浮かびますが、「勉強好きになるきっかけ」にはなかなか目が向きません。内発的動機づけやモニタリング方略などによって学習意欲が高まり、ひいては進路を深く考えるまでに至ることが、調査結果によって再確認できました。(青森県)

## 編集後記

今号では新しい試みとして、特集でご紹介した川崎市立東菅小学校の授業の様子を動画でも見られるようにしました(詳細はP.14参照)。これは、「すべ」を用いた授業を教育委員会の先生方が具体的にイメージでき、学校にも勧めやすくなることをねらったものです。ぜひアクセス・ご活用いただければと思います。また、右の巻末ページでは、新たに自治体に焦点を当てたコーナーがスタートしました。様々な角度から自治体の取り組みをご紹介していきたいと思っております。ご期待ください。(岡本)

## VIEW21 教育委員会版 2017 Vol.3 2017年11月20日発行/通巻第11号

発行人 山崎昌樹  
 編集人 春名啓紀  
 発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
 ベネッセ教育総合研究所  
 印刷製本 凸版印刷(株)  
 編集協力 (有)ベンダコ  
 執筆協力 二宮良太、中丸満、長谷川敦  
 撮影協力 荒川潤、川上一生、コスガ総一、  
 筒井岳彦、ヤマグチイキ

◎お問い合わせ先  
 フリーダイヤル 0120-350455  
 〒700-8686  
 岡山市北区南方3-7-17